

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2016年12月8日～2016年12月14日)

平成 28 年(2016 年)12 月 16 日

H E A D L I N E S

政治

戒厳令布告35周年に際する集会の開催
 欧州議会, ポーランド情勢につき議論
 ポーランド・アルバニア首相会談
 ヴァシチコフスキ外相の OCSE 外相会合への出席
 大統領,ポーランド軍の改編を議論
 ドウダ大統領,ロシアのドローン飛行を批判
 オルバン・ハンガリー首相のクラクフ訪問
 ドウダ大統領のポーランド・ドイツ善隣友好協力条約25周年記念式典への出席
 コモン・チャレンジャー16演習開始
 ヴァシチコフスキ外相の EU 外務理事会への出席
 ポーランド・チェコ首相会談
 ヴァシチコフスキ外相の EU 総務理事会への出席
 ヴァシチコフスキ外相のクチマ元ウクライナ大統領との会談
 国防大臣,欧州米陸軍高官と面談
 首相・国防相,自走砲の契約に署名

経済

2017年予算案の議論
 ムーディーズ社が経済成長率見通しを引き下げ
 11月の物価上昇率
 経済成長率予測の引き下げ
 アサヒグループホールディングス, 中東欧ビール事業を買収
 ポーランド投資開発基金の事業概要発表
 国有炭鉱企業KHWとポーランド鉱業グループ(PGG)の合併
 仏EDF子会社の分割売却を認めずーエネルギー省

大使館からのお知らせ

長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意
 パスポートダウンロード申請書のご案内
 海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ
 大使館広報文化センター開館時間
 文化行事・大使館関連行事

ポーランド日本国大使館
 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696
 5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内政

戒厳令布告35周年に際する集会の開催【13日】

13日、1981年の戒厳令布告から35年が経過したことを受け、ワルシャワ市内にて複数の集会が開催された。与党「法と正義」(PiS)の集会では、カチンスキ同党党首が、我々は共産主義時代の記憶を決して忘れてはならない、現在PiS政権はポーランドに前向きな変革をもたらしている旨述べた。一方、民主主義擁護委員会(KOD)主催の集会では、キヨフスキ代表が、現在のポーランドでは1981年時と同じように国民が民主主義及び尊厳を求めて戦っている旨述べた。

る旨述べた。

欧州議会、ポーランド情勢につき議論【14日】

14日、欧州議会は、ポーランドの法の支配を巡る情勢に関する議論を行った。ティーマンス欧州委員会筆頭副委員長は、同議論にて、ポーランド政府は7月27日の欧州委員会による勧告を踏まえた新たな措置を全く取っていない、現在立法作業が進められている憲法法廷関連三法案は同法廷を巡る問題を更に深刻化させるものである旨述べた。

外交・安全保障

ポーランド・アルバニア首相会談【8日】

8日、シドゥウォ首相は、アルバニアを訪問し、ラマ首相と会談を行い、二国間関係、経済関係及びアルバニアのEU加盟について意見交換した。また、同首相は、ポーランド・アルバニア経済フォーラムに出席し、アルバニアとの経済関係を強化し、貿易額の拡大に取り組む旨述べた。

済について意見交換した。

ドゥダ大統領のポーランド・ドイツ善隣友好協力条約25周年記念式典への出席【11日】

11日、ドゥダ大統領は、ガウク独大統領と共に、ベルリンにて開催されたポーランド・ドイツ善隣友好協力条約25周年記念行事を締めくくるコンサートにて、二国間関係について演説を行い、両国間にはパートナーシップ及び相互理解に基づいた友情が何十年も積み重なっていると述べた。

ヴァシチコフスキ外相のOCSE外相会合への出席【8-9日】

8-9日、ヴァシチコフスキ外相は、独ハンブルクにて開催された欧州安全保障協力機構(OSCE)の外相会合に出席した。また、同外相は、会合の際に、ウクライナ、アルバニア、キルキスタ、モンゴリア、モンテネグロ及びアゼルバイジャンの外相と二国間会談を行った。

コモン・チャレンジャー16演習開始【11~16日】

11日、コモン・チャレンジャー16演習は、ポーランド、リトアニア、ウクライナ、米国の合計650人が参加し、ポーランド南東部のノバデンバ演習場で開始された。本演習の狙いは、リトアニア・ポーランド・ウクライナ合同旅団(LITPOLUKRBRIG)の練度判定であり、NATO標準に到達しているか、旅団の作戦能力があるか等を判定される。

大統領、ポーランド軍の改編を議論【9日】

9日、ドゥダ大統領は、マチェレヴィチ国防大臣、ソロフ国家安全保障局長等と、ポーランド軍の改編について議論を行った。

ヴァシチコフスキ外相のEU外務理事会への出席【12日】

12日、ヴァシチコフスキ外相は、ブリュッセルにて開催されたEU外務理事会に出席した。同理事会では、EU・アフリカ関係、コンゴ民主共和国情勢及びシリア紛争について協議された。

ドゥダ大統領、ロシアのドローン飛行を批判【9日】

9日、ドゥダ大統領は、ロシアがポーランド上空でドローンを飛行させていたことを批判し、ロシア軍が軍事行動を活発化し、ポーランドの安全保障環境が悪化している。侵略があった場合に備え、NATOと準備を行う必要がある旨述べた。

ポーランド・チェコ首相会談【12日】

12日、シドゥウォ首相は、ポーランド南部のヴィスワにて、ソボトカ・チェコ首相と会談し、二国間関係、欧州理事会での協力及びS3高速道路の完成を含む共同インフラ計画等について意見交換した。

オルバン・ハンガリー首相のクラクフ訪問【9-10日】

9-10日、オルバン首相がクラクフを私的訪問し、シドゥウォ首相と会談を行い、欧州理事会への取り組み、移民・難民問題、安全保障及び経済について意見交換した他、カチンスキ「法と正義」(PiS)党首とも会談を行い、欧州の将来、移民・難民問題及び経

ヴァシチコフスキ外相のEU総務理事会への出席【13日】

13日、ヴァシチコフスキ外相は、ブリュッセルにて開催されたEU総務理事会に出席した。同理事会では、難民問題に関するEU・トルコ合意及びアフリカ関係等について協議された。

ヴァシチコフスキ外相のクチマ元ウクライナ大統領との会談【14日】

14日、ヴァシチコフスキ外相は、ワルシャワにて、露との紛争に関する三者コンタクト・グループのウクライナ特別代表を務めるクチマ元大統領と会談を行い、ウクライナ東部の紛争地域の情勢及び二国間関係について意見交換した。

国防大臣、欧州米陸軍高官と面談【14日】

14日、マチェレヴィチ国防大臣は、欧州米陸軍司令官ホッジ中将との懇談後、米軍は、来年1月6日に機甲旅団と装備品を積載した船舶がドイツのブレーメンハーベンに到着し、2個大隊が上陸する。1個大隊は、ポーランドを経て、バルト諸国に、1個大隊は、ルーマニアへ展開する予定である旨述べた。

首相・国防相、自走砲の契約に署名【14日】

14日、シドゥウォ首相及びマチェレヴィチ国防大臣は、155ミリ自走榴弾砲をポーランド軍に導入する契約を署名した。契約額は40億ズロチに上る。また、ポーランド軍が開発中の次世代弾薬の契約も近く予定されている。

経 済
経済政策

2017年予算案の議論【12日】

野党市民プラットフォーム(PO)は、2016年のGDP成長率は2.5%となることが見込まれ、2017年予算案の政府経済見通しの成長率3.6%は非現実的だとし、改定を与党に要求した。スキバ財務

次官は、ポーランド経済はデフレから脱却しつつあり、税収も増えていることから、2017年の経済成長率は更に伸びるとして、改定は不要と主張している。

マクロ経済動向・統計

ムーディーズ社が経済成長率見通しを引き下げ【8日】

格付け機関ムーディーズは、2016年の予測経済成長率を3.1%から2.8%に引き下げ、2017年の同成長率を3%から2.9%に引き下げた。投資、貿易の減退を主な理由としている。政府債務格付けは「A2」、中期的格付け見通しは「ネガティブ」で変わらず。

前月比0.1%増、対前年同月比0%増と発表した。物価微増の要因は食品、レクリエーション関連製品の価格上昇によるとのこと。

経済成長率予測の引き下げ【15日】

財務省は、2016年第4四半期の経済成長率が第3四半期の2.5%を大きく下回り1.8%となるとの見通しを発表した。主な原因は投資と輸出の落ち込みであり、2017年第1四半期には回復する見込みとしている。

11月の物価上昇率【12日】

中央統計局(GUS)は、11月の物価上昇率が

ポーランド産業動向

アサヒグループホールディングス、中東欧ビール事業を買収【13日】

アサヒグループホールディングスは、アンハイザー・ブッシュ・インベブ(ベルギー)よりポーランドを含む中東欧5か国で展開するビール事業の買収に合意したと発表した。ポーランドのブランドではTyskieやLech等が含まれる。買収額は73億ユーロ、2017年1~6月の買収完了を予定している。アサヒは今年10月にもインベブ社より伊、オランダ、英国等西欧の事業を買収していた。

ポーランド投資開発基金の事業概要発表【14日】

ポーランド投資開発基金(PFR)の事業計画が発表された。傘下にBGK銀行、産業開発機構(ARP)、輸出保険(KUKE)、企業開発機構(PARP)、輸出・投資促進機構(PAIH、前PAIIZ)の分野別支援機関を有する。インターネット上に分野別のポータルサイトを設けるほか、各種支援ツールを提供し、ポーランド企業のイノベーション促進する役割を担う。

エネルギー・環境

国有石炭企業KHWとポーランド鉱業グループ(PGG)の合併【14日】

トプジェフスキ・エネルギー大臣は、政府が株式を保有する炭鉱会社カトヴィツェ石炭ホールディング(KHW)に関し、同社の経営状況の改善等の観点から同じく国有企業であるポーランド鉱業グループ(PGG)と統合されるべきとの認識を示した。統合に関する結論は2017年1月末に提示される見込み。また、PGGのロガウCEOは、報道機関に対しKHWとの統合に向けた準備が進められていることを認め、監査役会や株主の了解が必要ではあるものの2017年第1四半期のうちに作業を完了させたいと述べた。

仏EDF子会社の分割売却を認めずーエネルギー省【14日】

エネルギー省は、仏EDF社が進めるポーランドの子会社の売却交渉に関し、Rybnik 石炭火力発電所と熱供給発電(コジェネ)設備とを別個に売却する案を国のエネルギー安全保障上の懸念から不許可とした。EDF社は前者をチェコEPH社へ、後者を豪IFM社へ売却する方向で当局に許可を求めていた。EDFの買収には、ポーランドの電力・エネルギー会社連合(PGE, Enea, Energa及びPG NiG Termika)も名乗りを上げている。

大使館からのお知らせ

長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生しておりませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure.asp?id=173>

パスポートダウンロード申請書のご案内

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html

海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ

当館ホームページにおきまして、テロ・感染症・麻薬犯罪等対策と「たびレジ」による緊急連絡先登録のお願い」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pwideareaspecificinfo.asp?infocode=2015C361>

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22-584- 73 00, Eメール:

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

文化行事・大使館関連行事

【開催中】花鳥画展【9月21日(水)～12月31日(土)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、花鳥画展が開催中です。

開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://www.manggha.pl/exhibition/81>

【開催中】展覧会「日本を体験」【11月18日(金)～1月21日(土)】

ルブリン市 Spotkania Kultur センターにて、日本文化・歴史を紹介する日本美術技術博物館 Manggha 所蔵品の展覧会が開催中です。

開催場所: ルブリン県, ルブリン市, Centrum Spotkania Kultur, Plac Teatralny 1

詳細: <http://www.spotkaniakultur.com/pl/manggha>

【開催中】展覧会「お茶と日本酒:日本の二つの飲み物」【11月19日(土)～2月12日(金)】

トルン旧市庁舎博物館にて、お茶と日本酒に関する展覧会が開催され、錦絵、茶碗をはじめとした茶道具、徳利、ぐい呑等の展示が行われています。

開催場所: トルン旧市庁舎博物館, Kamienica pod Gwiazda, ul. Rynek Staromiejski 35

詳細: <http://www.muzeum.torun.pl/>

【開催中】嵐絞り染めに関する展示【12月5日(月)～1月20日(金)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、嵐絞り染めに関する展示が開催中です。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 -584 -73 00, E メール:

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【予定】第10回柔道選手権大会「若者の才能養成所」【12月17日(土)】

ユゼフ市にて、学生柔道クラブ「ユコ ユゼフ」主催による『第10回柔道選手権大会「若者の才能養成所」』が開催されます。

開催場所: マゾフシェ県, ユゼフ市, ul. Długa 44

詳細: <https://www.facebook.com/events/255971241221761/>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(<http://www.pl.emb-japan.go.jp/index.j.htm>)も併せて御覧ください。

在ポーランド日本国大使館 newsmail@wr.mofa.go.jp (ご連絡は電子メールでお願いします。)